

Subject: 【参考情報】東日本大震災の企業の対応情報 3/25

消防庁予防課守谷さんが、BCAO のメンバーに回覧された内容を、ご本人の許可を頂いたので、回覧します。(重複はお許しを) なお、これは正式なものではありませんので、ご注意ください。

上田

「危機管理に関する勉強会」事務局

eMail : sjuku1@gmail.com

> 各位

>

> 発災2日目から7日目まで、福島県の現地対策本部で対応をしていました。

> (発災当日、8日目以降は政府の災害対策本部にあります。)

>

> 福島での状況を簡単に報告します。

> ・県庁舎は使えない状況であったが、電源が確保され、サーバー、電話交換機は稼働していたため、隣接建物での災害対策本部が稼働できた。

> (→通信系インフラの最低限の耐震性、電源確保が重要)

> ・市町村によっては、役場が津波で流出していたため、連絡手段が衛星携帯電話のみとなったところがあった。

> (→情報集約拠点では、衛星携帯電話1台だけでも確保することが重要)

> ・輸送ロジにおいて、

> 配送用車両の燃料補給が最初のボトルネックとなった。消防車、救急車もガス欠し、救援も困難。燃料補給の拠点となるGSが営業していないところも多かった。給油設備の破損などもあった。

> (→自家給油取扱所のある輸送拠点のチェックや、手回し式給油設備の確保、ガソリン携行缶の確保、危険物取扱者の手配など(←特に有資格者の確保が見落としがち))

> ・非常電源も燃料がなくなると稼働しない。

> (→タンクだけではなく、配管、浸水などに備えることが必要。数日間タンクへの油補給がないことも想定する必要があるのではないか)

> ・風評被害のある地域には、民間輸送会社に配送を拒否される場合がある。

> (→受け渡し拠点を決め、地域内から取りに行くといった手配が必要)

> ※今回は放射能であったが、病原菌や毒劇物汚染なども原因として想定しうる。

> ・サイトを放棄する場合でも、最低限の周辺被害防止を講じないと、将来的に経営母体に大きな影響を与える可能性がある。

> ・特に大きな環境影響等が懸念される事業所の場合、地域の自治体へのこまめな情報提供を行わないと、地元不信感を持たれてしまい、その後の事業再開に影響する可能性がある。

> (→何らかの手段で本社と地元拠点との間の通信回線を確保するよう早急に手配することが重要)

> ・復旧のためには、ガス・水道・電気等の設備の損傷を確認する必要があるが、そのための技術者が単独事業所では手配困難。

> (→地域でまとまって技術者の手配をする等、工夫が必要)

> ・帰宅困難となる従業員、復旧作業に携わる従業員のためにも、食料品、水、休憩場所・毛布等が必要。地域で共用するようなバスを確保することも有効。

>

> 被災現場には直接入っていませんが、県の災害対策本部で得た情報をまとめさせていただきました。

>

> 今後の対策の検討の一助となればと思います。

**Subject: 【参考情報】東日本大震災の企業の対応情報 3/25-2**

今頃になって気づいても遅いのですが、現地の情報は現地のメディアが一番ですね。

現地の新聞社と FM 局の情報です。

○ 河北新報社 3.11 大震災特集

[http://www.kahoku.co.jp/spe/spe\\_sys1062/index.htm](http://www.kahoku.co.jp/spe/spe_sys1062/index.htm)

○ 東北 6 県の FM ラジオ (KDDI 提供) PC・スマートフォンで聴けます。

[http://www.aucp.jp/lr17\\_p8su5l/wave/index.html](http://www.aucp.jp/lr17_p8su5l/wave/index.html)

緑のボックス FM を聴く で各局が聞けます。

音量に注意してください。

国交省が、転居の場合の住宅斡旋を開始

○ 被災者向け公営住宅等情報センターの設置について

[http://www.mlit.go.jp/report/press/house03\\_hh\\_000048.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/house03_hh_000048.html)

◆ 対象となる方

お住まいの県外の公営住宅等を希望される方で、東北地方太平洋沖地震、それに伴う津波等による被災者、福島第一原子力発電所及び同第二発電所の事故に伴う避難指示等がなされている地域に居住していた方。

日本の放射性物質は海外へも

○ 時事ドットコム: 福島原発の放射性物質がドイツに到達

<http://www.jiji.com/jc/eqa?g=eqa&k=2011032600004>

【ベルリン時事】ドイツ政府は25日、福島第1原発の事故で大気中に放出された放射性物質を24日夜にドイツで初めて検出したと発表した。

環境省や放射線防護庁によると、北部のブラウンシュウィクや南西部のシャウインスラントで放射性ヨウ素が検出された。1年間に受ける自然放射線量の100万分の1以下で、健康に影響はないとしている。

放射性物質は既にアイスランドやスウェーデンでも検出されているという。

このような言葉に送られて卒業していく高校生にも負けず、われわれも自分に出来ることで息長く支援したい。

○ 卒業式中止した立教新座高校 3 年生諸君へ。

<http://niiza.rikkyo.ac.jp/news/2011/03/8549/> (全文)

歴史上かつてない惨状が今も日本列島の多くの地域に存在する。あまりに痛ましい状況である。祝意を避けるべきではないかという意見もあろう。だが私は、今この時だからこそ、諸君を未来に送り出したいとも思う。惨状を目の当たりにして、私は思う。自然とは何か。自然との共存とは何か。文明の進歩とは何か。原子力発

電所の事故には、科学の進歩とは、何かを痛烈に思う。原子力発電所の危険が叫ばれたとき、私がいかなる行動をしたか、悔恨の思いも浮かぶ。

今ここで高校を卒業できることの重みを深く共に考えよう。そして、被災地にあつて、命そのものに対峙して、生きること懸命の力を振り絞る友人たちのために、声を上げよう。共に共にいまここに私たちがいることを。

その原発の放射線からの甲状腺被ばく線量の試算

○ 緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)の試算

[http://www.nsc.go.jp/info/110323\\_top\\_siryu.pdf](http://www.nsc.go.jp/info/110323_top_siryu.pdf)

資料からみると、残念ながら影響は同心円では広がっていません。避難区域から外れている区域の方は心配です。